

事務事業評価表 平成22年度

政策 豊かさ創造性を育む生涯学習環境の充実
 施策 市民スポーツ活動の充実
 基本事業 スポーツ・レクリエーション機会の充実

事業名 **スポーツ教室開催事業**

[0623]

部名	教育部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	生涯学習課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	<p>(誰、何に対して事業を行うのか)</p> <p>市民</p>
意図	<p>(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>市民が健康づくりに興味・関心を持ち、生涯スポーツの基礎的な活動を会得し、日常的にスポーツに親しむこと。</p>
手段	<p>(事務事業の内容、やり方、手段)</p> <p>屋内体育施設の指定管理者に「スポーツ教室」事業を指定管理事業として委託する。</p>

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市民	人	123,537	123,054	122,568	123,054
対象指標2						
活動指標1	指定管理委託料	千円	6,499	6,499	6,499	10,584
活動指標2						
成果指標1	参加者延べ人数	人	24,278	26,761	25,143	25,000
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	6,499	6,499	6,499	10,584
正職員人件費 (B)		千円	837	836	415	416
総事業費 (A) + (B)		千円	7,336	7,335	6,914	11,000

費用内訳	
21年度	委託料 6,499千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始
背景

事業を
取り巻く
環境変化

21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

義務的事務事業
妥当である
妥当性が低い

理由
・
根拠は？

競技スポーツという専門的分野だけではなく、だれもが関心を持っている健康づくりをテーマにした事業も展開しており、妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

貢献度大きい
貢献度ふつう
貢献度小さい
基礎的事務事業

理由
・
根拠は？

市民の健康・体力づくりが図られることから、貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

あがっている
どちらかといえばあがっている
あがらない

理由
・
根拠は？

一部の教室を除いてほとんどの教室で定員に達しており、健康づくりに取り組む方が多いことから、効果が上がっている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

成果向上余地 大
成果向上余地 中
成果向上余地 小・なし

理由
・
根拠は？

事業開催場所の拡充を図ることができ、更に多くの事業を展開できれば、教室参加者の増加が期待できる。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

ある
ない

理由
・
根拠は？

平成18年度より市民体育館外計4施設の指定管理者が当事業を実施している。